

(様式第3号)

令和4年9月1日

登米市議会議長 関 孝 様

議員名 伊 藤 栄

調 査 報 告 書

調査の概要は次のとおりであります。

記

1. 調査目的 トキと共生する里地づくり地域に登米市が選定されたことを受け、共生を目指すための環境づくり及び市民のかかわり方などを調査し、今後の取組に生かすもの。
2. 調査先 トキの森公園（新潟県佐渡島）
3. 調査期間 令和4年8月22日から  
8月23日まで 2日間（うち22日は移動日）
4. 調査の経過と結果並びに所感 別添参照
5. 添付書類 調査先配付資料



## 政務調査報告

- [目 的] トキと共生する里づくりの取組について
- [日 時] 令和4年8月23日(火) 午前10時～正午まで
- [行 先] 新潟県佐渡市 トキの森公園
- [対応職員] 佐渡市農林水産部農業政策課 トキ里山振興係 主任 土屋 智起
- [派遣人員] 伊藤 栄
- [経 費] 68,570円
- |                    |         |
|--------------------|---------|
| (内訳) 交通費 (JR、高速船代) | 55,240円 |
| 交通費 (バス代)          | 1,320円  |
| ホテル代               | 6,600円  |
| 食事代                | 2,970円  |
| 土産代                | 1,400円  |
| 駐車場料金              | 1,040円  |

- [調査項目] ① 市民と地域ぐるみで取り組むトキと共生する仕組みについて  
② 田んぼの生き物調査について  
③ 餌場、ねぐらについて

### [所 感]

佐渡島では、国の特別天然記念物のトキが保護センターほか、野生化して生息している。その数は、2020年12月現在で440羽以上となる。

国は、「国内のトキが自然状態で安定的に存続できる状態となること」を最終目標としており、具体的には、①国内の成熟個体数が1,000羽以上となること、②国内で複数の地域個体群が確立されること、③地域個体群で遺伝的な交流があること、④生息密度が過密にならないことが実現されることを目指している。

目標達成に向けて、佐渡島で順調に増殖しているトキを本州に放鳥するため、環境省は本年5月、「トキと共生する里地づくり取組地域」の公募を行い、登米市も応募した結果、「放鳥は行わないものの、飛来したトキが生息できる環境整備を進める地域(B地域)」に選定された。

トキの生息環境とは、どんなものか見当もつかなかったが、佐渡島では、田んぼの生き物を育むために特別栽培米の取組や、生息環境保全の取組として生き物調査を実施しているなど、登米市との共通点が多かった。一方で、いずれ飛来するトキと登米市民がどう共生できるか。生息環境の整備以上に、市民がトキを受け入れてくれるのが心配であり、課題となり得るポイントと感じた。

佐渡市では、トキと共生するためのルールをつくり、長い年月をかけて行政と市民団体などが一体となった取組を実践していることを目の当たりにした。

本市においても、佐渡市の事例を参考とし、関係団体と連携・協力を図りながら、トキとの共生に向けた取組を推進されたい。